



山梨県立 甲府工業高等学校



＝ハイパー甲府工業構想＝
＝ものづくり・進学・部活動＝

Pursue Your Potentiality

個性を生かし

可能性を追求しよう

◆校訓＝質実剛健

◆信条＝技術者となる前に人間となれ

本校は大正6年に創設され、産業界に多くの技術者を送り出し、その活躍は各分野で高い評価を得ています。

全日制には機械・電気・電子・建築・土木の5科が設置されているほか、勤労青年のため機械科・電気科・建築科を持つ定時制（夜間）が併設されており、充実した快適な環境のもとに、学習に部活動に活発な学園生活を送っています。

平成9年に完成した新校舎は、激しく変化する技術革新に対応できる多様で近代的な設備を備え、21世紀の新時代を切り開いていく生徒の個性や能力を十分に伸ばすことのできる快適な教育環境を誇っています。

また、平成29年4月より文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」に指定され、「地域産業を支え、地方を創生するエンジニアの育成」を主なテーマに実践研究を行っています。2020年4月、機械・電子をより深く学ぶ全日制専攻科開設。

今までの伝統・校風を重んじる中で、教育信条にも謳われている「人間教育」の基礎となる部活動の強化、専門教科の深化を図り工業技術者の養成を目指した「キャリア教育」の充実、そして工業系大学進学を目指した「ハイパー甲府工業構想」を実践し、全国トップレベルの工業高校を目指します。

本校で学ぶ教科・科目

普通教科	国語総合、現代文B、世界史A、地理A、現代社会、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、科学と人間生活、物理基礎、物理総合、体育、保健、美術Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ、実用英語、英語探究、家庭基礎	
学科	履修科目	取得資格（受験資格）
全科共通	工業技術基礎、課題研究、実習、製図、情報技術基礎	甲種・乙種・丙種危険物取扱主任者、アマチュア無線技士、消防設備士 小規模ボイラー取扱講習、ガス溶接技能講習、アーク溶接技能講習
機械科	自動車工学、生産システム技術、機械工作、機械設計、原動機、環境工学基礎、電気システム	機械検査2・3級、金属熱処理3級、普通旋盤2・3級、フライス盤3級、品質管理検定2・3・4級、機械保全3級、2級ボイラー技士
電気科	電気基礎、電気機器、電力技術、電子技術、工業数学基礎、通信技術、電子計測制御	第3種電気主任技術者、第1・2種電気工事士、工事担任者(AI・DD1～3種)、第2級陸上特殊無線技士、第3級海上特殊無線技士
電子科	工業管理技術、電気基礎、電子回路、電子計測制御、通信技術、プログラミング技術、ハードウェア技術、コンピュータシステム技術	電気通信工事担任者(AI・DD1種～3種)、ITパスポート、第2種電気工事士、陸上特殊無線1・2級、CG検定、技能検定電子機器組立3級、QC検定
建築科	建築構造、建築施工、建築構造設計、建築計画、建築法規、建築実務技術、材料力学、住宅デザイン	2級建築施工管理技術検定、初級CAD検定、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、建築大工2・3級、(2級建築士)
土木科	測量、土木施工、土木基礎力学、土木構造設計、社会基盤工学、土木法規、土木材料工学	測量士補、測量士、2級土木施工管理技術検定、計算技術検定(1級～3級)、移動式クレーン運転士

所在地 〒400-0026 甲府市塩部2丁目7番1号

電話 055-252-4896(全), 055-252-4992(定)

FAX 055-251-3385

URL <http://www.kofu-th.ed.jp/>

E-mail www-admin@kofu-th.ed.jp

創立 大正6年4月28日

課程 全日制・定時制

利用交通機関 JR甲府駅より徒歩15分

教員数 全日制 92名 定時制 36名

生徒数 全日制815名 定時制 93名

課程	科名	1年		2年		3年		4年	
		男	女	男	女	男	女	男	女
全日制	機械科	74	6	78	2	78	1		
	電気科	75	0	69	5	71	3		
	電子科	39	1	39	0	34	5		
	建築科	29	11	28	8	31	9		
	土木科	35	4	37	3	36	4		
定時制	機械科			7	2	10	0	10	0
	電気科	19	2	7	1	8	0	7	0
	建築科			5	0	5	0	9	1

Course Guidance

個性に応じた就職指導と

大学進学に対する徹底指導

就職者に対してはもちろんのこと、進学者に対しても、数学、英語の少人数選択授業及び課外、進路模試、面接、小論文指導等を実施します。

◆主な就職先

【県内】 NECプラットフォームズ、キトー、コイケ、関電工、第一精工、丸茂電機、甲府明電舎、THK、テルモ、内藤ハウス、日立オートモティブシステムズ、キャノンファインテックニスカ、住友電工デバイスイノベーション、早野組、ファナック、横河マニュファクチャリング、パナソニックファクトリーソリューションズ、山梨県警察、山梨県職員

【県外】 NTT-ME、東京電力パワーグリッド、JR東海、JR東日本、清水建設、住友林業ホームエンジニアリング、中部電力、トヨタ自動車、三菱電機ビルテクノサービス、セイコーエプソン、東京地下鉄、日本軽金属、きんでん

◆主な進学先

【県内】 山梨大、山梨学院大、帝京科学大、健康科学大

【県外】 筑波大、信州大、公立諏訪東京理科大、長野大、芝浦工大、千葉工大、工学院大、日本大、日本工業大、成蹊大、東洋大、杏林大、関東学院大、金沢工大、国士舘大、城西国際大、神奈川工大、中央大、拓殖大、東京工科大、東京電機大、法政大、城西大、神奈川大

◆進路状況

全日制	就職	大学	短大	大学校等	専門学校
H30年度	167	49	1	7	35

自ら学ぶ意欲を尊重する学科の内容

学科ごとに具体的な実践目標を定め、生徒一人ひとりに、生涯にわたって自ら学ぶ意欲が育つような学習内容の実現を目指しています。

【機械科】～「ものづくり」の楽しさから創意工夫への挑戦～

自動車・航空機・工場の生産設備・ロボットなど生活を豊かにする製品をつくるために必要なものづくりの知識と技術・技能を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。



【電気科】～パワーエレクトロニクスの最先端技術を目指して～

電気基礎理論から電力送配電理論・電気工事・電気機器制御・発電技術などについて幅広く学習し、電力関連企業を中心に、各種メーカーの生産設備の管理技術者として活躍できる人材を育成する。



【電子科】～高度情報化社会をリードする力を～

コンピュータを構成する電子回路やソフトウェア、電子機器やロボットの制御、インターネットを可能としたネットワーク技術などの基礎を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。



【建築科】～一人ひとりの感性と能力を発揮させる～

住宅から高層建築まで、様々な建築物の設計方法と造り方を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。



【土木科】～知識と技術で人々の暮らしをつくる～

道路・鉄道・トンネル・ダム・橋などの構造物を建設するための設計と測量を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。



部活動を通して人間形成を図る

学校生活をいっそう充実させてくれる部活動。本校では、全員がいずれかの部に所属して、人間形成の育成を図ります。また、生徒達の自治的な性格を持つ3特別委員会は、生徒の立場から学校を運営・改革する組織として、高い実績を上げています。

【体育局】陸上駅伝部、空手部、弓道部、剣道部、サッカー部、山岳部、自転車部、柔道部、テニス部、新体操部、卓球部、ソフトテニス部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、ハンドボール部、ボクシング部、野球部、ラグビー部

【学芸局】ギター部、写真部、茶道部、吹奏楽部、情報システム部、美術部、建築研究部、ハンダ語研究部、ボランティア部、無線部、機械技術部

【特別委員会】企画実行委員会、放送委員会、応援委員会

〔2018年度の主な活躍実績〕

- ・関東大会出場：陸上・駅伝部、空手部、山岳部、バドミントン部、剣道部、テニス部、ソフトテニス部、バレーボール部、野球部、写真部、電気科
- ・全国大会出場：弓道部、自転車部、ボクシング部、柔道部、新体操部、卓球部、放送委員会、情報システム部（電子科）、建築研究部（建築科）、土木科

〔主な学校行事〕

- 4月 入学式、新入生歓迎会
- 5月 高校総合体育大会、生徒総会
- 6月 三者懇談、芸術鑑賞会
- 7月 校内球技大会
- 8月 各部合宿、オープンスクール、企業現場実習
- 9月 進路模擬面接、生徒会役員選挙
- 10月 新人大会、学園祭、強歩大会
- 11月 修学旅行
- 12月 サッカー大会、生徒会団結餅つき、企業現場実習
- 1月 生徒会鏡開き、企業見学（2年）
- 2月 リーダー研修会、スキー教室
- 3月 卒業式、入学許可予定者登校日



新入生歓迎会(4月)



修学旅行(11月)